

脳神経外科研修プログラム

I プログラムの一般目標 (GIO)

脳神経外科の基礎的知識を習得して、多くの神経・精神疾患の中から脳神経外科的疾患を的確に鑑別し、頭部外傷・脳血管障害急性期の基本的初期対応を行なえるようにする。

II 行動目標 (SBOs)

1. 頭痛、めまい、痙攣、麻痺などの主要徴候を詳しく問診できる。
2. 基本的診察法
卒前に習得した事項を基本とし、受持ち症例については以下につき主要な所見を正確に把握できる。
全身の観察
頭頸部の診察（眼底検査、外耳道、鼻腔、口腔の観察）
神経学的診察
意識障害深度の判定
意識障害患者の神経学的検査
3. 検査法
髄液検査の結果を解釈できる。
頭蓋単純写・脊椎写が読影できる。
CT、MRI、脳血管撮影、SPECTの基本的読影ができる。
脳波の基本的理解ができる。
4. 手技的事項
気管内挿管・蘇生術の基本ができる。
脳血管撮影の助手ができる。
頭皮、顔面等の創処置（消毒、局所麻酔、debridement、切開・排膿、縫合、ドレーンの設置と交換、ガーゼ交換、包帯法）ができる。
経鼻栄養チューブの挿入、交換ができる。
気管切開の管理ができる。
5. 治療法
脳神経外科患者の基本的療養指導、薬物療法、食事指導、生活指導ができる。
リハビリテーションの適応決定、依頼ができる。

III 方略 (LS)

1. 外来において問診、カルテ記載法に習熟する。
2. 神経学的検査など脳神経外科の基本的技術を習得するとともに、頭痛、めまい、痙攣、麻痺、意識障害などの主要神経徴候のみかたと対応法を学ぶ。
3. 病棟において患者を受持ち、脳神経外科入院患者の問題点の整理と対策、術前検査の計画を行う。
4. 簡単な脳神経外科的手術手技を経験する。
5. 周術期管理について学ぶ。
6. スタッフ回診、ケースカンファレンスに参加し、症例のプレゼンテーションを行う。
7. 頭部外傷や脳血管障害の救急患者があれば積極的に参加し、その対応法や手術法を学ぶ。
8. 脳神経外科疾患を鑑別し、必要に応じて専門医に紹介する。また移送する前のプライマリーケアを

行う。

【3 か月研修の場合】

上記研修内容の 1～8 に加えて

9. 外来において問診、カルテ記載法に習熟する。
10. 神経学的検査など脳神経外科の基本的技術を習得するとともに、頭痛、めまい、痙攣、麻痺、意識障害などの主要神経徴候のみかたと対応法を学ぶ。
11. 病棟において患者を受持ち、脳神経外科入院患者の問題点の整理と対策、術前検査の計画を行う。
12. 簡単な脳神経外科的手術手技を経験する。
13. 周術期管理について学ぶ。
14. スタッフ回診、ケースカンファレンスに参加し、症例のプレゼンテーションを行う。
15. 頭部外傷や脳血管障害の救急患者があれば積極的に参加し、その対応法や手術法を学ぶ。
16. 脳神経外科疾患を鑑別し、必要に応じて専門医に紹介する。また移送する前のプライマリーケアを行う。

IV 経験すべき疾患

1. 脳・脊髄血管障害（脳出血、くも膜下出血）
2. 脳・脊髄外傷（頭部外傷、急性硬膜外・硬膜下血腫）
3. 脳腫瘍
4. 慢性硬膜下血腫
5. 水頭症

V 評価(EV)

1. EPOC による評価を行う。
2. レポートの提出により評価を行う。（頭痛、めまい、視力障害、視野狭窄、四肢のしびれ、脳・脊髄血管障害）

脳神経外科研修スケジュール

		月	火	水	木	金
午前	8 : 30	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
午後	13 : 30	脳血管撮影 (血管内手術)	脳血管撮影 (血管内手術)	定位放射線治療	(手術日)	(手術日)
	16 : 00	病棟回診	病棟回診	カンファレンス	病棟回診	病棟回診